

「君が動けば、世界が変わる!!」小学4年生の児童らが食品ロス削減を発信 (神奈川県鎌倉市立小坂小学校)

鎌倉市立小坂小学校4年4組の児童27人が、食品ロスを減らすことに関心を持ち、フードロス^{ゼロゼロ}00応援隊を結成し、「君が動けば、世界が変わる!!」をタイトルとした児童手書きの新聞やポスターを作成し、学校内や街頭で、自発的な啓発活動を実施。

□ 平成30年9月、社会科の授業で、ごみとして廃棄される食品の多さを知ったことをきっかけに調査を実施。

◎食品ロスの現状の調査を実施
◎毎月の給食の残飯量の調査を実施
全校で200~250Kg/月の残飯量に驚く



□ まずはできることから行動しようと、「給食の残飯量を減らす」ために、「残飯^{ゼロゼロ}00応援隊」を結成し、学校内で活動を開始。児童手書きのポスターを作成し、各教室に掲示。

◎全校の残飯量
平均15Kg/日→平均10Kg/日まで減少
行動による効果が目に見えて分かった

□ 地域にも取組を広めたいと、「フードロス^{ゼロゼロ}00応援隊」を結成し、地域向けに作成した手書きの新聞やポスターを配布。

「大人たちも、食品ロスについて考え直すきっかけとなった。」との地域の声もあった。

□ 児童の発案で、街頭キャンペーンも実施し、日本の食品ロスや飢餓に苦しむ世界の子供たちの現状と併せて、食品ロス削減の重要性を発信。

〈街頭キャンペーンの様子(平成31年3月12日): 積極的に新聞を配布する児童〉



〈フードロス^{ゼロゼロ}00応援隊新聞の一面〉

君が動けば
世界が変わる

もう
いがない...

一方、他の国では毎年600万人もの子どもたちが空腹のため死んでいます。(これは、5秒に一人の割合です)

STOP フードロス **646万**kg
2015年度に、企業と家庭で年間646万トンも、食品ロスが起きます。国民一人あたり、毎日茶碗一はい分の量にあたります。(世界全体の食料援助の2倍の量が日本では、毎年ゴミとなる計算。)

みんな
フードロスを
へげましょう!

小坂小学校4年4組 フードロス^{ゼロゼロ}00応援隊

※新聞の裏面には、世界食料計画(WFP)による食料援助量や飢餓に苦しむ人々についても、掲載している。